

経歴

ナリニ・マラニ

1946	インド(現パキスタン)、カラチ生まれ
1969	サー・J.J. 美術学校卒業(ムンバイ、インド)
1970-72	フランス政府奨学金給費生として、パリに留学
1984-89	インド政府アート・リサーチ・フェロー
1989	USIA(米国広報・文化交流庁)フェローシップにてファイン・アーツ・ワーク・センター滞在アーティスト(ケープコッド、米国)
1999-2000	福岡アジア美術館滞在アーティスト(日本)
2001-03	アムステルダム国立美術アカデミー特別顧問(オランダ)
2010	サンフランシスコ・アート・インステチュート芸術名誉博士号(米国)
2013	ポンピドゥー・センター「イン・ヴィヴオ」(講演とパフォーマンスのシリーズ)にて講演(パリ、フランス)

主な個展

「象形文字とその他の作品」ジャハーンギール・アート・ギャラリー(ムンバイ、インド) 1991
「欲望の都市」ギャラリー・ケモールド(ムンバイ、インド) 1992
「トーバ・テック・シンを思い出して」プリンス・オブ・ウェールズ博物館(ムンバイ、インド) 1999
「ナリニ・マラニ:ハムレットマシン」ニュー・ミュージアム・オブ・コンテンポラリー・アート(ニューヨーク、米国) 2002-03
「根源を晒す:ナリニ・マラニの絵画作品」ピーボディ・エセックス博物館(セイラム、マサチューセッツ州、米国) 2005-06
「ナリニ・マラニ」アイルランド現代美術館(ダブリン、アイルランド) 2007
「ナリニ・マラニ:影に耳を傾ける」アラリオ・ギャラリー(ニューヨーク、米国) 2008
「ナリニ・マラニ:内在する他者との分裂」カントナル・デ・ボザール美術館(ローザンヌ、スイス) 2010
「インスタレーションビデオ作品展「母なるインド」」ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館(シドニー、オーストラリア) 2012

主なグループ展

「鏡の向こうに」(巡回展:ポーバル、ニューデリー、ムンバイ、バンガロール) 1987-89
「第1回ヨハネスブルク・ビエンナーレ:アフリカス」(南アフリカ) 1995
「第2回・第4回アジア太平洋現代美術トリエンナーレ」クイーンズランド州立美術館(ブリスベン、オーストラリア) 1996-97, 2002-03
「インド現代美術展:神話を紡ぐ作家たち」国際交流フォーラム(東京) 1998
「センチュリー・シティ:近代の大都市における芸術と文化」テート・モダン(ロンドン、英国) 2001
「第8回イスタンブール・ビエンナーレ:詩的正義」イェレバタン地下宮殿(トルコ) 2003
「第3回ソウル国際メディア・アート・ビエンナーレ:デジタル・ホモ・ルーデンス」ソウル市立美術館(韓国) 2004-05
「第52回ヴェネチア・ビエンナーレ:感覚で考えよう、思考で感じよう、現在形のアート」(イタリア) 2007
「第16回シドニー・ビエンナーレ:革命-変化するフォルム」(オーストラリア) 2008
「パリ・デリー・ボンベイ…」ポンピドゥー・センター(パリ、フランス) 2011
「第13回ドクメンタ」(カッセル、ドイツ) 2012
「アジアの女性アーティスト展:アジアをつなぐ-境界を生きる女たち 1984-2012」(巡回展)福岡アジア美術館(福岡) 2012、栃木県立美術館(栃木) 2013、三重県立美術館(三重) 2013

主な収蔵美術館と作品

ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館(シドニー・オーストラリア):『ローハル・チャウルの象形文字』1991、『ドガ連作』1992、
『記憶:記録/抹消』1996、『しみ』1999、『多様性の中の統一』2003、『母なるインド:痛みにおけるそれぞれの働き』2005
大英博物館(ロンドン、英国):『夢見ることと汚すこと』1991
ジョルジュ・ボンピドゥー国立美術文化センター(パリ、フランス):『マッド・メグを思い出して』2007-11
福岡アジア美術館(日本):『略奪された岸辺』1993、『しみ』1999、『ハムレットマシン』2000
キラン・ナダル美術館(ニューデリー、インド):『カサンドラ』2009
ニューヨーク近代美術館(米国):『ローハル・チャウルの象形文字』1991、『ゲームピース』2003, 2009
シンガポール美術館(シンガポール):『ハムレットマシン』2000、『多様性の中の統一』2003
アムステルダム市立近代美術館(オランダ):『罪』2001